

11001製鉄・製鋼・圧延業における死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物 (小)	労働者規模
1	2018	1	8 9	変圧器の絶縁保護のための、プレスボード（紙を高圧力で押し固めて作った、電気絶縁のための材料）という材料を曲げ加工するローラーで発生した。後工程から部品の曲げ直しを依頼された被災者が、監督者の指示を受けずに自ら機械を操作した。そのとき、プレスボードがローラーの間にうまく入っていなかったため、両手でプレスボードを押し込んだときに挟まれた。すぐにローラーを逆回転させて手を引き抜いた。	49	7	169	300 ～ 499 人
2	2018	1	3 4	工場2階調理室にて台車に1個バットが乗った物を手を使用しないで足で蹴って移動させようとし、つまずいて転倒、その際に左手首をつき骨折。	49	2	719	500 ～ 999 人
3	2018	1	8 9	入浴介助にて患者を車椅子へ移乗中、患者が脱力状態となり、支えたところ右腰部に痛みを感じた。急性腰痛症及び変形性腰痛症となった。	41	13	352	300 ～ 499 人
4	2018	2	17 18	鋼板の移動中に吊り金具が外れ、鋼板が飛んできた。その際に鋼板が背中に当たり飛ばされクレーンに左足をぶつけ、肋骨と左足を負傷した。	52	4	211	10～ 29人
5	2018	2	7 8	コンベア調整後、試運転を行っていた際に、コンベアを下から覗こうとした際に、誤って右手の皮手がコンベアの端のほつれに引っ掛かり、右手がリターンローラー部に巻き込まれ、右手先～	50	7	224	100 ～ 299

				肘にかけて骨折及び裂傷のケガを負った。				人
6	2018	2	9 ～ 10	階段を下りようとして、最下ステップから足を踏み外して、右第5中足骨を折った。	45	1	413	1～9 人
7	2018	2	13 ～ 14	製品受入作業中、クレーンフックで製品を正転させる際に巻き上げすぎたため、製品が回転して手直し台から落下し右足先に乗り負傷した。	38	4	911	—
8	2018	3	8 ～ 9	セメント原料破碎設備にて、朝の点検作業後、設備の稼働点検作業を開始した。作業指揮者の合図で同僚の運転士が設備の起動スイッチを順にONにしていた。水平ベルトコンベアのスイッチをONにしたとき操作盤の電流計が異常な数値を示した。このため運転士はすぐに同スイッチをOFFにして点検に向かったところ、水平ベルトコンベアテールプーリー巻きこまれた被災者を発見した。被災者はベルトコンベアテールプーリーのコーティング除去を行おうとしてベルトコンベアに巻き込まれたと推定される。	38	7	224	100 ～ 299 人
9	2018	3	8 ～ 9	構内屋外集積場所で鉄骨をガスバーナーを使用して切断している際、鉄骨がずれ落ち鉄骨の間に右手指を挟まれ受傷した。	23	4	521	10～ 29人
10	2018	4	22 ～ 23	第2機械工場の施盤にて機械加工をしていた。R部を加工していたため、細く伸びた切粉が受台に溜まったので、デレッキを使い受台から落とした。作業台と反対側にある箕の付近に移動し、スコップを使わずに足で切粉を落とした。左足に切粉が引っ掛かっていることに気が付かず、作業台に戻ろうと足を前に出した際、切粉で左足を受傷した。	24	8	521	100 ～ 299 人
11	2018	4	2 ～ 3	工場DH1号機にて材料の溶接作業を行う際、材料が積まれたキャリアを移動させるために、ホイストからハッカーを取り外したが、取り外したハッカーがもたせから倒れてき、とっさに足を避けたが、避けきれず、右足首及び甲にハッカーが直撃し負傷し	26	5	372	50～ 99人

				た。				
12	2018	4	14 ～ 15	作業現場で作業中、加工過程の製品につまずき、転倒し、その際に右手で床をなぐる形になり骨折した。	55	2	612	30～ 49人
13	2018	4	23 ～ 24	電気炉による溶解作業中、酸素を炉に供給する機械が止まったので原因を調べていたところ他の作業者とともに火災に巻き込まれ火傷した。	28	16	519	50～ 99人
14	2018	4	23 ～ 24	電気炉による溶解作業中、酸素を炉に供給する機械が止まったので原因を調べていたところ他作業者から見えない床下で火災に巻き込まれ火傷し死亡した。	46	16	519	50～ 99人
15	2018	5	13 ～ 14	切断工場で、丸鋸切断機を使用し鋼材の切断作業中、鋼材の端材が残ったため切断機のスイッチを切り、端材を取り除こうとした。その際、取り出し治具を使用せず手で端材を取り除こうとしたため、停止間際の丸鋸刃に、装着していた皮手が巻き込まれ左手環指を負傷した。	69	7	159	100 ～ 299 人
16	2018	5	14 ～ 15	フォークリフトを使おうと思い現場に行くと、他の人が使っておりシャフトを運んでいた。被災者はシャフトが斜めに置かれているのを直そうと思い、右足でシャフトを強く押したが、勢い余って鉄製のパレットの角柱にふくらはぎを当ててしまっ打撲した。	33	3	521	30～ 49人
17	2018	5	17 ～ 18	工場でエアパンチを固定する鎖の張りが甘かったため、エアパンチがセンから外れ、金型に当たった衝撃で本体から矢が外れて、右足甲に当たって負傷した。	37	4	169	50～ 99人
18	2018	5	14 ～ 15	スポット溶接機の操作中、手指が電極に残っているときに誤って足踏み式スイッチに触れてしまい、右手親指の第一関節部分を挟んだ	44	7	159	10～ 29人
				肌不良部を搬送ローラー間にあるエア配管保護用カバー上で吊				

19	2018	5	4 5	りだそうと考え、肌不良部を落下させた。その際、肌不良部と配管保護カバーが土間に落下しエアー配管を折損させ、被災者はエアー漏れを止めるため稼働域の電源を落とさないまま、搬送ラインを乗り越えようとエメリー切断機ベルトカバーの縁を握った。その際に、ベルトカバーとVベルトの隙間に指が入り、駆動しているVベルトに轆かれ右手を被災した。	32	7	121	1000 人以上
20	2018	5	14 15	工場内にて材料が正常に圧延されているか監視する業務を行っていた際、材料を送るローラーにスケールが狭まりローラーが停止したため、設備を停止し、監視台から当該ローラーに向かって移動しようとしたところ、つまずき監視台傍のスイッチに胸を打ち付け胸骨を折った。	41	2	417	10～ 29人
21	2018	6	14 15	工場で、製品であるステンレスコイル（約2.6t）を、L字フックを用いて出荷用トラックに積み込む際、コイルがL字フックから脱落し、被災者の左足踝に落下した。	63	4	372	30～ 49人
22	2018	6	14 15	6tクッション本体の取付ボルトの除去作業中、作業が終了して本体上部板をクレーンで吊り上げる際、板が作業側で上がり気味になり、吊り具が作業側に滑って来て、外れた吊り具が作業者の左腕に当たった。	40	6	211	100 ～ 299 人
23	2018	7	14 15	構内のガス切作業場屋外にて、ガスバーナーを使用して鉄屑を切断している際、自分の切った鉄屑が左足に崩れ、脛を挟まれ受傷した。	51	4	521	10～ 29人
24	2018	7	14 15	原料焼結変圧室の1焼結メインブロワ高圧盤内の点検作業に着手し、オイルサーキットブレーカーからスパークが発生し、被災した。	39	16	352	1000 人以上
25	2018	7	21 22	ブリキ工場の機械整備業務に従事していて、タンク取り替え工事で、梁やタンクの受台部分の腐食状況を確認しようと、開口部を覗き込んだ（推定）際、開口部から約4m下のフロアまで被災者が転落するのが見えた。	43	1	414	1000 人以上

26	2018	7	11 ～ 12	製品を搬送ローラーに流していたとき、製品の先端が曲がっていたので、当て板に製品を当てようとして、搬送ローラーの駆動している歯車とチェーンに、右手人差し指と中指を挟んだ。	39	7	224	10～ 29人
27	2018	7	7 ～ 8	ショップ組み込み作業場にてロール組み込み作業を開始したが、15分ほどで体調不良を感じ、熱中症及び急性腎前性腎不全となった。	57	90	911	300 ～ 499 人
28	2018	7	5 ～ 6	生産終了後の後始末チェックで2階のガスメータの数値をチェックリストに記入後、階段を下りる際に、踵が引っ掛かり中2階へ転落した。	42	1	413	100 ～ 299 人
29	2018	7	18 ～ 19	切断位置を確認するため、ビット内の鋼塊に上り、降りる際に足を滑らせ転落し、ビット内の熱湯で両足を火傷した。	40	11	159	—
30	2018	8	5 ～ 6	クレードル上の製品をクレーンで通路上に移動する作業をしていたときに、製品を移動する吊り具を天秤からワイヤーに取り替えるために、天秤を通路に仮置きしようとしたら、天秤が振れ路面の間に右足つま先が挟まり、右足の親指を骨折した。	50	7	211	100 ～ 299 人
31	2018	8	17 ～ 18	ピレットグラインダー運転室へ帳票を届けるため、開口部脇を通る際、開口部の縁から足を踏み外して転落した。	24	1	414	50～ 99人
32	2018	8	10 ～ 11	外の明かりを建屋内に取り込むため、備品棚上でシャッターを人力で持ち上げようとシャッター下部を両手で持ち上げたとき腐食があり、手が滑りバランスを崩し後方へ転落した。	58	1	391	30～ 49人
33	2018	8	8 ～ 9	出鉄孔補修が必要となり、ガス抜き作業と出鉄孔剛の不要耐火物除去作業を実施し、作業終了後、出鉄樋の端に足を掛けた際、足を滑らせてバランスを崩して、出鉄樋内に足が落ち負傷した。	63	1	418	100 ～ 299

									人
34	2018	8	18 ～ 19	ウエイトの転倒防止プレート取り付け作業に従事していたが、固定用ナットの締め付けが不十分な状態で、レバーブロックで吊っていたフックを外したため、ウエイト（600kg）が倒れ、右足に当たった。	32	4	391	500 ～ 999	人
35	2018	9	16 ～ 17	工場の通路にてミスロールが発生し、ミス材（約1000℃）が大量に散乱した。ミス材の横にある吊り具を取りに行った直後、横に落ちていたパーツクリーナー（スプレー缶）が爆発炎上し、顔、左右前腕部、背中を火傷した。	38	14	391	100 ～ 299	人
36	2018	9	15 ～ 16	大型タイヤショベルで残土を移動中、路面の凹凸で車体がぶれた際、ブレーキをかけたときに後輪が浮き上がって車体が地面でバウンドする形となり、その衝撃で骨折した。	50	3	225	50～ 99人	
37	2018	9	9 ～ 10	清掃作業にて床面をホウキで清掃中、床面に設置されていた開口部養生用の仮蓋（口900mm×2.3mm、約23kg）をスクラップ材と勘違いして片付けようとして持ち上げ、一歩踏み出した際に、開口部から6.4m下の床面に転落した。	59	1	414	10～ 29人	
38	2018	9	20 ～ 21	被災者がいることに気付かず製品台車を動かしてしまったため、製品台車側面と安全柵の間に挟まれて、受傷した。	46	7	362	100 ～ 299	人
39	2018	9	14 ～ 15	酸洗作業中、吊り上げ用のフックが滑ってくるぶしに当たり骨折した。	62	6	372	10～ 29人	
40	2018	9	10 ～ 11	鋼材製品を注文ごとに揃えてバンドで結束する作業時、クレーンで鋼材製品束（3本分、177kg）を積み上げようとした。ところが、鋼材と固定していた吊具のマグネットが外れ、吊っていた製品が約60cmの高さから落下し、製品が跳ね上がって右足甲に接触し、右足第1中足部分を骨折した。	33	4	211	50～ 99人	

41	2018	9	10 ～ 11	ドラムミキサー周辺の水洗作業後、階段前の落鉱石のぬかるみを歩行中、泥に足を取られてゴム長靴が脱げ、右足を落鉱石の泥の中に踏み込んだ。泥中に生石灰が混入しており、洗浄したが、アルカリ性であったため皮膚が赤くなり、細菌感染により蜂窩織炎を起こした。	50	90	911	300 ～ 499 人
42	2018	9	16 ～ 17	工場にてカット機調整作業中、線の直線度を矯正するためボルト締の強弱等調整中、ギアに巻き込まれて右環指手指不全切断、右小指中節骨開放骨折、右小指伸筋腱損傷を負った。	57	7	121	10～ 29人
43	2018	9	16 ～ 17	工場の通路にてミスロールが発生し、ミス材（約1000℃）が大量に散乱した。ミス材の横にある吊り具を取りに行った直後、横に落ちていたパーツクリーナー（スプレー缶）が爆発炎上し、顔、左右前腕部、背中を火傷した。	38	14	391	100 ～ 299 人
44	2018	9	15 ～ 16	大型タイヤショベルで残土を移動中、路面の凹凸で車体がぶれた際、ブレーキをかけたときに後輪が浮き上がって車体が地面でバウンドする形となり、その衝撃で骨折した。	50	3	225	50～ 99人
45	2018	9	9 ～ 10	清掃作業にて床面をホウキで清掃中、床面に設置されていた開口部養生用の仮蓋（口900mm×2.3mm、約23kg）をスクラップ材と勘違いして片付けようとして持ち上げ、一歩踏み出した際に、開口部から6.4m下の床面に転落した。	59	1	414	10～ 29人
46	2018	9	20 ～ 21	被災者がいることに気付かず製品台車を動かしてしまったため、製品台車側面と安全柵の間に挟まれて、受傷した。	46	7	362	100 ～ 299 人
47	2018	9	14 ～ 15	酸洗作業中、吊り上げ用のフックが滑ってくるぶしに当たり骨折した。	62	6	372	10～ 29人
				鋼材製品を注文ごとに揃えてバンドで結束する作業時、クレーン				

48	2018	9	10 ～ 11	で鋼材製品束（3本分、177kg）を積み上げようとした。ところが、鋼材と固定していた吊具のマグネットが外れ、吊っていた製品が約60cmの高さから落下し、製品が跳ね上がって右足甲に接触し、右足第1中足部分を骨折した。	33	4	211	50～ 99人
49	2018	9	10 ～ 11	ドラムミキサー周辺の水洗作業後、階段前の落鉱石のぬかるみを歩行中、泥に足を取られてゴム長靴が脱げ、右足を落鉱石の泥の中に踏み込んだ。泥中に生石灰が混入しており、洗浄したが、アルカリ性であったため皮膚が赤くなり、細菌感染により蜂窩織炎を起こした。	50	90	911	300 ～ 499 人
50	2018	9	16 ～ 17	工場にてカット機調整作業中、線の直線度を矯正するためボルト締の強靱等調整中、ギアに巻き込まれて右環指手指不全切断、右小指中節骨開放骨折、右小指伸筋腱損傷を負った。	57	7	121	10～ 29人
51	2018	9	16 ～ 17	工場の通路にてミスロールが発生し、ミス材（約1000℃）が大量に散乱した。ミス材の横にある吊り具を取りに行った直後、横に落ちていたパーツクリーナー（スプレー缶）が爆発炎上し、顔、左右前腕部、背中を火傷した。	38	14	391	100 ～ 299 人
52	2018	9	15 ～ 16	大型タイヤショベルで残土を移動中、路面の凹凸で車体がぶれた際、ブレーキをかけたときに後輪が浮き上がって車体が地面でバウンドする形となり、その衝撃で骨折した。	50	3	225	50～ 99人
53	2018	9	9 ～ 10	清掃作業にて床面をホウキで清掃中、床面に設置されていた開口部養生用の仮蓋（口900mm×2.3mm、約23kg）をスクラップ材と勘違いして片付けようとして持ち上げ、一歩踏み出した際に、開口部から6.4m下の床面に転落した。	59	1	414	10～ 29人
54	2018	9	20 ～ 21	被災者がいることに気付かず製品台車を動かしてしまったため、製品台車側面と安全柵の間に挟まれて、受傷した。	46	7	362	100 ～ 299 人
			14					



55	2018	9	～ 15	酸洗作業中、吊り上げ用のフックが滑ってくるぶしに当たり骨折した。	62	6	372	10～ 29人
56	2018	9	～ 11	鋼材製品を注文ごとに揃えてバンドで結束する作業時、クレーンで鋼材製品束（3本分、177kg）を積み上げようとした。ところが、鋼材と固定していた吊具のマグネットが外れ、吊っていた製品が約60cmの高さから落下し、製品が跳ね上がって右足甲に接触し、右足第1中足部分を骨折した。	33	4	211	50～ 99人
57	2018	9	～ 11	ドラムミキサー周辺の水洗作業後、階段前の落鉱石のぬかるみを歩行中、泥に足を取られてゴム長靴が脱げ、右足を落鉱石の泥の中に踏み込んだ。泥中に生石灰が混入しており、洗浄したが、アルカリ性であったため皮膚が赤くなり、細菌感染により蜂窩織炎を起こした。	50	90	911	300～ 499人
58	2018	9	～ 17	工場にてカット機調整作業中、線の直線度を矯正するためボルト締の強靱等調整中、ギアに巻き込まれて右環指手指不全切断、右小指中節骨開放骨折、右小指伸筋腱損傷を負った。	57	7	121	10～ 29人
59	2018	9	～ 17	工場の通路にてミスロールが発生し、ミス材（約1000℃）が大量に散乱した。ミス材の横にある吊り具を取りに行った直後、横に落ちていたパーツクリーナー（スプレー缶）が爆発炎上し、顔、左右前腕部、背中を火傷した。	38	14	391	100～ 299人
60	2018	9	～ 16	大型タイヤショベルで残土を移動中、路面の凹凸で車体がぶれた際、ブレーキをかけたときに後輪が浮き上がって車体が地面でバウンドする形となり、その衝撃で骨折した。	50	3	225	50～ 99人
61	2018	9	～ 10	清掃作業にて床面をホウキで清掃中、床面に設置されていた開口部養生用の仮蓋（口900mm×2.3mm、約23kg）をスクラップ材と勘違いして片付けようとして持ち上げ、一歩踏み出した際に、開口部から6.4m下の床面に転落した。	59	1	414	10～ 29人
			20					100

62	2018	9	～ 21	被災者がいることに気付かず製品台車を動かしてしまったため、製品台車側面と安全柵の間に挟まれて、受傷した。	46	7	362	～ 299 人
63	2018	9	14 ～ 15	酸洗作業中、吊り上げ用のフックが滑ってくるぶしに当たり骨折した。	62	6	372	10～ 29人
64	2018	9	10 ～ 11	鋼材製品を注文ごとに揃えてバンドで結束する作業時、クレーンで鋼材製品束（3本分、177kg）を積み上げようとした。ところが、鋼材と固定していた吊具のマグネットが外れ、吊っていた製品が約60cmの高さから落下し、製品が跳ね上がって右足甲に接触し、右足第1中足部分を骨折した。	33	4	211	50～ 99人
65	2018	9	10 ～ 11	ドラムミキサー周辺の水洗作業後、階段前の落鉱石のぬかるみを歩行中、泥に足を取られてゴム長靴が脱げ、右足を落鉱石の泥の中に踏み込んだ。泥中に生石灰が混入しており、洗浄したが、アルカリ性であったため皮膚が赤くなり、細菌感染により蜂窩織炎を起こした。	50	90	911	300 ～ 499 人
66	2018	9	16 ～ 17	工場にてカット機調整作業中、線の直線度を矯正するためボルト締の強靱等調整中、ギアに巻き込まれて右環指手指不全切断、右小指中節骨開放骨折、右小指伸筋腱損傷を負った。	57	7	121	10～ 29人
67	2018	10	13 ～ 14	工場内の製品置き場で、クレーンでコイル（1t）を吊った状態で外観確認を行っていたとき、奥に置いてあったコイルが倒れてきて、コイルと地面に挟まれた。	26	5	521	50～ 99人
68	2018	10	21 ～ 22	屋外ガスタンク室の点検作業中、ブロック階段で転倒した。	57	1	413	100 ～ 299 人
69	2018	10	～	16 工場内で500kgの鋼線を積んだキャリア上に別のキャリアを積み重ねようとした。その際にクレーンの操作を誤り、クレーンとキャ	41	7	211	10～

			17	リアの間に右手小指と薬指を挟んだ。				29人
70	2018	10	14 ～ 15	鋼材の積み降ろし作業中、固縛された梁部材を被災者がトラック荷台上で玉掛けし、別作業員が声掛けしながら天井クレーンで吊り上げた。その際に吊り荷が揺れて旋回し、トラック荷台にいた被災者に当たった。	67	6	211	1～9 人
71	2018	11	7 ～ 8	工場入口の扉を内側から開けようとしたとき、扉付近に立て掛けてあった工作物（約75kg）に扉の施錠用プレートが引っ掛かって転倒し、下半身が下敷きになった。	73	5	521	1～9 人
72	2018	11	11 ～ 12	工場では鋼に梁を取り付ける作業中、天井クレーンでH鋼を台の上に乗せ、H鋼に掛けてあったフックを外してクレーンを引き上げたところ、フックが完全に外れておらず、H鋼が被災者の方へ倒れた。その際、被災者の上半身がH鋼の下敷きになり、死亡した。	21	4	372	10～ 29人
73	2018	11	4 ～ 5	高さ約1.5mにはい積みした製品から下りる際、結束番線に左足が引っ掛かり、バランスを崩して地上に着地し、右足首を負傷した。	33	1	911	100 ～ 299 人
74	2018	11	16 ～ 17	圧延中、過熱炉内に次材の立ち上がりが発生したため、均熱帯点検口で処置作業を行っていた。立ち上がり材料を下ろすスペースを作るため、回転治具を使い材料端面部に差し込み、回転させて抽出しようとしたところ、材料が落下した。その際、治具をつかんでいた作業員が弾き飛ばされ、階段手摺りに腰を強打して転倒した。	51	6	341	50～ 99人
75	2018	12	16 ～ 17	被災者は、工場内で内作作業や片付けをしていた。機材を持って小走りしたところ、右足首をひねり、転倒した。	64	2	921	30～ 49人
76	2018	12	16	工場脇のり面を歩行中、足を滑らせ斜面から落下した。その際、斜面脇にあるU字溝に頭部及び上半身を強打し、骨折や内臓損傷を	64	2	711	50～ 99人

			17	負った。				
77	2018	12	16	工場外の社員駐車場で、駐車場の整地道具、及びガラの片付け作業をしているとき、3トンドンプの荷台にコンクリートガラを載せているとき、両手で持っていたが、手が滑り、約10kgのコンクリートガラが荷台手前より落ち、左足甲（安全靴着用）に落下した。	64	4	529	30～ 49人
78	2018	12	9	トレーラーの荷台上で鉄鋼材、積み込み作業後、鋼材（平鋼）の上を歩行中、製品の段差につまずきバランスを崩し、トレーラー荷台の製品上から地上へ落下した。	64	1	221	30～ 49人

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。